



CSデータ受信用避雷器

アレスタ型 10~2150MHz 電流通過型

MODEL
HPC-75P

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特長

1. 保安用アレスタが組み込まれていますので、誘導雷等の異常高圧から受信機やパソコンを保護します。
2. 接地されていない受信機やパソコンを大地接地することができるので、大地との間に起こる電撃を大幅に軽減することができます。
3. ステンレスシャーシ及びカバーの使用により、耐食性、耐候性に優れています。
4. シャーシとカバーを圧入取付けしておりますので、漏洩に対して優れた遮蔽性能を有しております。
5. 本製品は、従来の保安器では不可能だった直流伝送が可能な回路を採用していますので、受信機からの同軸重畳の電源でパラボラアンテナを動作させることができます。パラボラアンテナへの電源供給が不要な場合は、広帯域保安器NHS-G1をご使用ください。

■使用上の注意

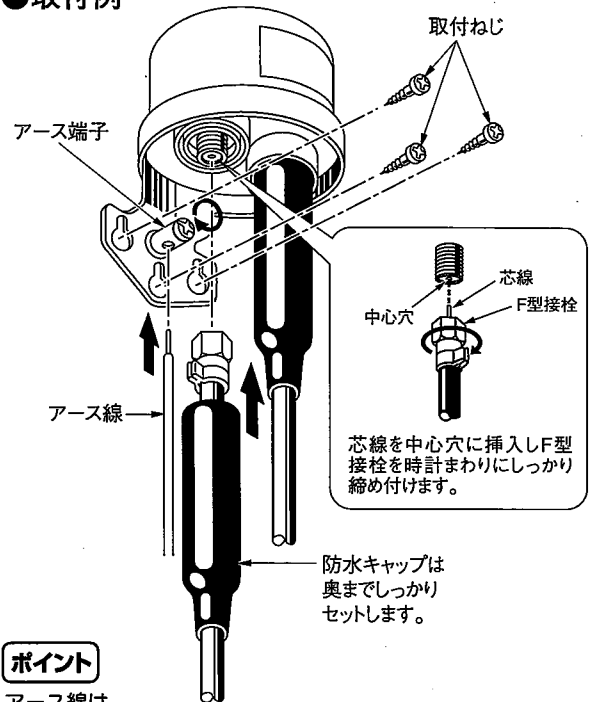
1. F型接栓は、規定のトルク以上で締め付けしないでください。規定値は2.7N・m以下です。締め付けが過度になると破壊や故障の原因になります。
2. 金属製家屋外壁に直に取付けしないでください。また、取付け板使用時は、取付けねじは外壁に当らない長さのものをご使用ください。長くてねじが外壁に接触していると外壁にアースが落ちる危険性があります。
3. アースを確実にとってください。本器でアースをとることにより、受信機やパソコンでアースをとる代用にもなります。

■規格表

●電流通過 DC15V 0.5A MAX

項目	性能	
周波数帯域 (MHz)	10~30	30~2150
入出力インピーダンス (Ω)	75	
挿入損失 (dB以下)	1.5	2.0
電圧定在波比 (以下)	2.2	1.8
耐雷性	正負各々5kV/200μsecのサージ電圧に耐える	
使用温度範囲 (℃)	-20~+40	
寸法 (mm)・重量 (g)	高さ74 幅64.6 奥行70.3・100	

●取付例



ポイント

アース線は、取付ねじで確実に固定してください。

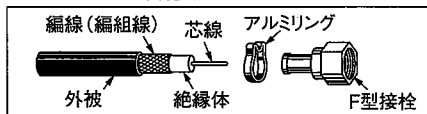
- 3本の取付ねじで保安器を固定してください。
- アース線は10mmほど被覆をむいて本体下部のアース端子に挿入し、ねじ止めしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクタを使用してください。

●同軸ケーブル加工法とF型接栓取付方法 (別売品)

◆用意するもの

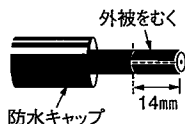
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブルの名称 (75Ω用)



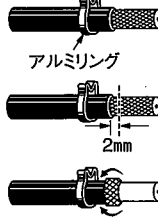
●アルミ箔付同軸ケーブル (FB型) の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



防水キャップはケーブルに合せて切断し、必ず先にケーブルに通しておきます。

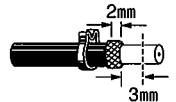
2. 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。
3. 外被から2mm程度はなして編線 (編組線) をていねいに切り落としてください。
4. 編線 (編組線) をめくりあげます。



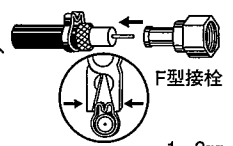
ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないか確認してください。
- 芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

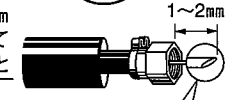
5. 編線 (編組線) から3mmはなして絶縁体を切り、抜きとります。



6. F型接栓を絶縁体 (アルミ箔) と編線 (編組線) の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



7. 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。長くすると接栓座を破損します。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221 (大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
D814001910 平成15年11月